

令和6年度大学人・社会人としての 基礎力養成プログラム (レベルⅢ)

日時	令和6年10月3日(木)～4日(金)
会場	愛媛大学城北キャンパス E.U. Regional Commons 3階 地域サステナビリティスペース
対象	課長、課長補佐相当級の職員
定員	30名
主催	愛媛大学、四国地区大学教職員能力開発ネットワーク (SPOD)

- ◆ 2日間の全プログラムに参加してください。
- ◆ 修了者には、SPOD事務局から所属機関に修了者名簿を送ります。

研修目的

大学の職員として階層別に求められる知識や実践方法を習得することを目的とする。

研修内容

大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルⅢ)の右記の研修科目を実施する。

到達目標

全体目標

大学の管理職としての役割を理解し、組織の課題解決に向けた知識や実践方法を習得することができる。

- ◆ 人材マネジメント
- ◆ メンタルヘルス・ラインケア実践
- ◆ 戦略策定と組織運営
- ◆ 危機管理特論

【人材マネジメント】

- ・人材マネジメントのフレームワークを説明することができる
- ・人材育成のために人事評価を活用することができる
- ・職場の活性化を促す提案をすることができる

【メンタルヘルス・ラインケア実践】

- ・管理職の果たすべき役割について説明することができる
- ・組織のメンタルヘルス環境を整えることができる
- ・メンタル不調者に適切な対応ができる
- ・職場復帰の支援ができる

【戦略策定と組織運営】

- ・高等教育機関の戦略の特徴と類型を説明することができる
- ・高等教育機関の戦略策定の基本的方法を説明することができる
- ・高等教育機関の組織的特徴を理解し、自分の言葉でまとめることができる
- ・高等教育機関の組織運営を理解する枠組みを説明できるようになる
- ・戦略策定と組織運営の知見を実際の事例に活用することができる

【危機管理特論】

- ・リスク管理と内部統制の要点について説明することができる
- ・管理職の果たすべき責任について説明することができる
- ・リスクが顕在化したときの対応策を構築することができる



昨年度の様子

令和6年度大学人・社会人としての 基礎力養成プログラム (レベルⅢ)

受講者の声

◆各講義を受講しての感想

◆ 人材マネジメント

・人材マネジメントのフレームワークを正しく理解し利用・説明できることは、管理職の必須事項だと学びました。

◆ メンタルヘルス・ラインケア実践

・ことがらの反映（聞いてくれていると思ってもらえる）と感情の反映（信頼関係につながる）によるくりかえしの効果、コミュニケーションを妨げるブロッキングに気をつけないといけないと学んだことも収穫の一つです。

◆ 戦略策定と組織運営

・ご教示いただいた「企画・マネジメント」方策シート（まんだらチャート）の活用にあたっては、日頃からの広い視野がなければシートは完成させられないと実感した。

◆ 危機管理特論

・第1領域＝津波型、第2領域＝台風型、第3領域＝被災地視察型、第4領域＝タ立型、という分類は初見で新鮮であり、具体的にイメージすることができた。また、ワークも実践的、体感できる内容で興味深く思えた。

・危機管理の3つの定（特定・想定・決定）や長期的な視点といった「全ての基本はコミュニケーションが大事」と教わった。



昨年度の様子



担当講師

同志社大学 国際連携推進機構 事務部長

井上 真琴

愛媛大学 教育・学生支援機構 教授

野本 ひさ

愛媛大学 教育・学生支援機構 講師

阿部 光伸

愛媛大学 総務部 次長

久保 秀二

愛媛大学 教育学生支援部教育センター事務課 課長

高木 佳代子

令和6年度 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルⅢ) 日程表

会場:愛媛大学 城北キャンパス

E.U. Regional Commons (ひめテラス)3階 地域サステナビリティスペース

	9:00	9:15	9:30	12:30	13:30	16:30	18:00	
1日目 10月3日(木)		受付	オープニング	【人材マネジメント】 講師:愛媛大学 久保 秀二	昼休憩	【メンタルヘルス・ラインケア実践】 講師:愛媛大学 野本 ひさ	情報交換会	
2日目 10月4日(金)		【危機管理特論】 講師:愛媛大学 阿部 光伸			昼休憩	【戦略策定と組織運営】 講師:同志社大学 井上 真琴	研修の振り返り 講師: 愛媛大学 高木佳代子	クロージング
	9:00			12:00	13:00	16:00	16:30 16:35	

※全プログラムに参加してください。

※研修スケジュールは、受講者数・進行によって変更する場合があります。